

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)	授業形式
M3140301		腫瘍血液内科学 (Oncology and Hematology II)					生命健康科学コース専門分野	対面
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	主に使用する言語	その他に使用する言語	担当形態
必修	2	3	医学部先進医療科学科	後期	月1	日本語		オムニバス
担当教員	氏名 緒方 正男、大津智 E-mail mogata@oita-u.ac.jp 内線 6275							
授業の概要	血液疾患と固形癌に関し、主に診断に関わる検査について演習を行う。血液疾患については末梢血と骨髓標本の作成の基本手技を取得し、塗抹標本の検鏡を行い、各種白血病細胞の形態学的診断能力を身につける。がん遺伝子に関するPCR検査を実施し、基本手技と判定能力を取得する。固形腫瘍に関してがん遺伝子パネルの結果を教材としてその臨床応用について解説する。							
具体的な到達目標							DP等の対応(別表参照)	1 2 3 4 5 6 7
目標1 赤血球、白血球系、血小板の形態に関する検査を実施し判断できる。								
目標2 止血、凝固、線溶に関する検査を実施し、結果を判断できる								
目標3 がん遺伝子に関する検査結果の判定ができる。								
目標4 結果の解析と評価ができる								
目標5								
目標6								
目標7								
目標8								
目標9								
目標10								
各DPへの関連度(計10)							7	1 1 1
授業の内容								
1 (学内実習) 検体の取扱い方								
2 (学内実習) 検査の基礎技術								
3 (学内実習) 赤血球の数と形態に関する検査								
4 (学内実習) 白血球の数と形態に関する検査								
5 (学内実習) 血小板の数と形態に関する検査								
6 (学内実習) 造血器腫瘍に関する検査								
7 (学内実習) 赤血球溶血に関する検査								
8 (学内実習) 血管機能に関する検査								
9 (学内実習) 止血・血栓に関する検査								
10 (学内実習) 血液凝固能に関する検査								
11 (学内実習) 血小板機能に関する検査・赤血球沈降速度検査								
12 (学内実習) ゲノム検査(遺伝子関連・染色体検査)								
13 (学内実習) ゲノム検査(PCR検査)								
14 (学内実習) がん遺伝子パネルの実際と臨床応用								
15 (学内実習) 検査結果の解析と評価の実際								
ラーニング	A:知識の定着・確認	A:小テストによる自己評価					工 夫 そ の 他 の	
	B:意見の表現・交換	B:レポート提出						
	C:応用志向	C:症例検討						
	D:知識の活用・創造	:実技テスト						
授業時間外 学修の内容 と想定時間	準備学修	配布資料の情報を予習する(34h)。						
	事後学修	小テストや配布資料を用いて復習する(34h)。						
	想定時間合計	68						
教科書	教科書は指定しない。授業中に配布するプリントを使用する。							
参考書	「病気がみえる vol. 5: 血液」 医療情報科学研究所 2017年、ISBN-13: 978-4896326529 「がんがみえる」医療情報科学研究所 2022年、ISBN-13 978-4896328608 「標準臨床検査学、血液検査学」医学書院、2012年、ISBN- 978-4-260-01509-7							

成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標 1	目標 2	目標 3	目標 4	目標 5	目標 6	目標 7	目標 8	目標 9	目標 10
	小テスト	10%										
	実技試験	45%										
	定期試験	45%										
注意事項												
備考												
リンク	URL											
担当教員の 実務経験の 有無												
教員の実務 経験	附属病院の医師											
実務経験を いかした教 育内容	血液検査やがん遺伝子検査結果を実際に臨床現場で使用している立場からこれらの検査の臨床上の意義と重要性を臨床経験に基づき概説し実技指導を行う。											